

令和6年度

入善町立入善小学校

令和6年12月20日



学校だより

学校の教育目標 「じりつする子供の育成」

学校HP→



教室の様子をご覧ください。ほぼ毎日更新 <http://www.nyuzen-e.tym.ed.jp/>

晴れの日 雨の日 雪の日

校長 内山 真之

6年生担任が、「最後のスキー学習は晴れてほしい」と声にします。5年生の時のスキー学習が雨だったのです。今年は、運動会も雨でした。途中に雨が降る予報でしたが、あの日だけが実施可能な日でした。心配だったのは、子供たちに雨の運動会の経験がないことでした。天候の変わりやすい秋です。以前は、運動会の途中に雨が降ることもありました。慣れていると備えることができます。もちろん、晴れの日の運動会がいいのですが、今なら、暑い日の運動会の方が心配です。曇りの日がいいですね。



6年生は、宿泊学習も雨でした。今回は、6年生が「テント泊をやりたい」と決めました。担任の先生は、「雨なら本館で宿泊」と考えていたようです。テント泊といっても施設の敷地内ですし、とてもいいテントを使用できます。大型の避難小屋（不動棟）がいつでも使えます。そもそもテントを張るのが、晴れの時だけというのも変な話です。雨の日こそ、テントのありがたさを体験させてやれるなと思っていました。

立山青少年自然の家の所員さんのお話では、「テント泊をする学校が少なくなった」、「雨だと野外に出ずに館内で過ごす」学校も多いそうです。コロナ禍に採用された若い先生たちの自然体験不足も大きな要因だそうです。学校だけでは、子供たちの発達段階に応じた苦労もある体験活動を実施できなくなっています。

さて本校の6年生。テント泊が初めてという子も多かったのですが、「雨のテント泊」を経験しました。晴れだとなんでもない簡単なことが、雨の中ではとたんに厳しくなることを実感したことでしょう。その時々に応じた準備ができるなどを期待しています。

6年生の何事も前向きに取り組み、その状況も含めて楽しむ姿に本当に感心しました。

5年生は、冬の宿泊学習に向けての学級活動が始まっています。雪は、5年生にどんな体験をさせてくれるのでしょう。季節も天気もいろんな形で、子供たちを育ててくれるようです。雪は、子供たちに楽しさと厳しさをプレゼントしてくれますが、どうかほどよく降ってほしいものです。皆様、どうぞ、よいお年をお迎えください。

11月16日(土) 入善公民館祭り



入善公民館祭りで、3年生の初めて希望参加を募ったところ、「アーティストリノミー」が「漫才」を披露しました。同じくボランティアでのお手伝いにも6年生が参加してくれました。

11月19日(火) 学校保健委員会「夢をもって生きよう！」

保健委員会の「あなたの夢」のアンケート結果発表と「夢について」のインタビュー動画の視聴。そして、本日の講師YOUTAさんの講演と演奏。全盲のピアニスト、作曲家であるYOUTAさんは、「工夫すればできる」、「いろいろやってみて、種を蒔こう」と、YOUTAさんだからこそ伝わる温かいメッセージをみんなに伝えてくださいました。



11月28日(木) 生活科「秋まつり」 1年

1年生が、生活科で取り組んできました「あきまつり」。「にゅうせんほいくしょの年長さん」を招待しました。自分たちも昨年、招待されているので、イメージができています。よく準備して、お兄さん、お姉さんらしくお世話してくれました。



12月10日(火) 入善町小学校合同講演会

町内の4～6年生を対象に、コスモホールにて「入善町小学校合同講演会」が行われました。今回は、町出身のシンガーソングライター 西島 梢さんをメイン講師にお迎えし、お話とバイオリン、ピアニストを交えての歌と演奏を聴きました。子供たちも一緒に歌ったり歌詞を考えたりと参加型の演出もあって、最後まで楽しめた講演会でした。



12月11日(水) 入善町議会を傍聴 6年



6年B組の26名が、「入善町12月議会本会議」を傍聴しました。総合的な学習の時間「入善町の未来を考えよう！」の学習として、町にお願いし実現しました。これまで、保険福祉課や入善町観光物産協会から講師を招き、人口減少問題、入善町の未来について考えてきました。子供たちは、「今日の議会の話がよくわかった」そうです。学校教育についての答弁も聞くことができて、6年生にとって貴重な経験となりました。